

(様式 1-3)

福島県(田村市) 帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票
令和 5 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	36	事業名	農産物を活用した 6 次化の創出に向けた移住人材確保事業	事業番号	(7)-49-3
交付団体	田村市		事業実施主体(直接/間接)	田村市(直接)	
総交付対象事業費	(36,955 千円) 86,388 (千円)		全体事業費	(36,955 千円) 86,388 (千円)	
帰還・移住等環境整備に関する目標					
<p>本市は、避難解除から間もなく 9 年を迎えようとしている。避難民の帰還については、9 割以上が完了しており、一定の成果が見えている一方で、震災前の 2010 年と震災後の 2020 年の国勢調査結果を比較するとわかる通り、総人口は 40,422 人から 35,169 人に減少し、15 歳以下の年少人口の構成比は 12.6%から 10.3%、生産年齢人口は 58.4%から 53.8%、老年人口は 28.9%から 35.9%へと推移しており、人口減少・少子高齢化が進んでいる。</p> <p>また、原発事故以前の基幹産業であった農林・畜産業は未だに続く風評被害による影響や、人口減少・少子高齢化に伴う後継者不足も重なって厳しい状況にあり、製造業やサービス業においても風評被害の影響は農林・畜産業と比較すると限定的ではあるが、人口減少に伴う担い手不足が顕在化し始めている。</p> <p>上記の状況を踏まえ、復興を後押ししてくれる新しい人(移住者)を積極的に受け入れ、これまで培ってきた地域の魅力や特徴に加えて、移住者を起点とする新しい産業や暮らしの在り方との共存を目指すことが重要である。帰還・移住等環境整備事業では、本市における避難指示区域であった都路地域を中心に、古くから続いてきた農林・畜産業や里地・里山での自然豊かな環境での暮らし、山菜や川魚などの豊富な食文化といった、これまでに培ってきた魅力や特色の維持・発展に加えて、周辺市域と連携を図りながらデジタル化の推進等による産業・暮らしのアップデートを図り、時代の変化や課題に対応できる持続可能なまちづくりを目指す。</p>					
事業概要					
【事業全体の概要】					
●キッチンカーを活用した田村市農産物の PR					
<p>本市の農業従事者は毎年減少し続けており、この現状を打開するため、飲食事業や農業×飲食を志す移住人材を対象に、地産農産物を活用したキッチンカー事業のアイデアを募集し、優秀な企画に対してキッチンカーを活用したビジネス展開をサポートするとともに、その後の常設店舗販売や EC 販売といった固定事業化に向けた支援を行うことで、当該人材の獲得を図る。</p> <p>あわせて、キッチンカー事業を起点として、地域の賑わい創出につなげていく動きの一環として、イベントを開催し、市内外への商品等の PR を行い、認知獲得につなげていく。</p>					
●新規就農者の獲得					
<p>本市の農業従事者数は年々減少し、また担い手の高齢化問題も深刻である。令和 4 年度で担い手を確保したキッチンカーが本格的に稼働していき、市外・県外の各所での営業活動により田村市の農産物を PR していく動きに合わせて、その農産物を生産する新規就農者の獲得の取組みを進める。</p> <p>キッチンカー事業で実施されるイベントでの農産物の販売や新規就農相談会などを各所で行い、興味関心層の獲得を進め、就農体験機会づくりや就農に向けた伴走支援を行う。</p>					

【取組内容】

●キッチンカーを活用した田村市農産物の PR

- ・ キッチンカーの導入
- ・ キッチンカー及び本市農産物等の地域資源を活用したアイデアコンテストの開催
- ・ キッチンカー事業開始に向けた経営サポート、地元農家とのマッチング支援
- ・ キッチンカー事業の認知獲得、農産物 PRにつながるイベントの企画、運営
- ・ 事業展開、営業支援に関わる経営サポート

●新規就農者の獲得

- ・ 農地情報の収集、整備
- ・ 就農体験機会（トライアルワーク）の提供
- ・ 外部団体等が実施する就農関連イベントへの出展
- ・ オンライン相談会、座談会など就農に関わるイベントの企画、運営
- ・ 就農支援内容や、イベント情報などの情報発信

※田村市移住・定住促進中期戦略（2021年度～2025年度）上の位置付け

1. 目指す姿

(1) 産業

ア 第一次産業

- ②新たな思考や価値観を持つ営農者やスマート農業者が増え、耕作放棄地の増加を抑制する

ウ 第三次産業

- ⑤里地・里山を地域資源として新たに創業起業する人が増える

3. 移住・定住の目標値

○分野別の目標値

ア 第一次産業（35）

- ②農業スマート化等による新規就農者

ウ 第三次産業（60）

- ⑤都路地区等で別荘や遊休不動産等を利活用した環境での創業起業、事業展開に伴う雇用者・移住者

4. ターゲット層

(2) 当市が戦略的にアプローチするターゲット層

[コアターゲット]

- ・ 不足する農業後継者の解消に向けた新規就農者及び本市が競争力強化を目指しているスマート農業など新しい技術を取り入れた農業関連分野で、生産物のブランド化、6次化や耕畜連携を推進する人

【5地域資源（4）①イ・ハ、②ハ・ニ、③へ】

- ・ 都路地区等で別荘や遊休不動産等を利活用した里山田舎暮らしを実践しながら、新たな価値を創出する創業起業、事業展開にチャレンジする人 【5地域資源（4）①ロ、②ロ、③イ・ロ・ト】

5. 地域資源

(4) 地域の魅力とその課題又はさらなる発展の期待

①一次産業

- イ. 市による都路地区（市内全域）の農地整備が行われており、効率的農地利用が可能。また、市内

に耕作放棄地も多数点在する。

6. 取組と実行基盤

(1) 主な取組み

No.2 農作物を活用した6次化の創出に向けた人材確保事業

当面の事業概要

<令和5年度>

●キッチンカーを活用した田村市農産物のPR

- ・ キッチンカー及び本市農産物等の地域資源を活用したイベントの企画、運営
- ・ 市内及び首都圏を中心とした就農者獲得と一体となったPRイベントの企画、運営
- ・ 事業展開、営業支援を中心とした経営サポート
- ・ イベント情報やキッチンカー出店情報などの外部発信
- ・ キッチンカーが出店可能な店舗の開拓支援、イベント情報の収集、共有

●新規就農者の獲得

- ・ 農地情報の収集、整備
- ・ 就農体験機会（トライアルワーク）の提供
- ・ 外部団体等が実施する就農関連イベントへの出展
- ・ オンライン相談会、座談会など就農に関わるイベントの企画、運営
- ・ 就農支援内容や、イベント情報などの情報発信

<令和6年度>

●キッチンカーを活用した田村市農産物のPR

- ・ キッチンカー及び本市農産物等の地域資源を活用したイベントの企画、運営
- ・ 市内及び首都圏を中心とした就農者獲得と一体となったPRイベントの企画、運営
- ・ 事業展開、営業支援を中心とした経営サポート及び、事業終了後のプランニング支援
- ・ イベント情報やキッチンカー出店情報などの外部発信
- ・ キッチンカーが出店可能な店舗の開拓支援、イベント情報の収集、共有

●新規就農者の獲得

- ・ 農地情報の収集、整備
- ・ 就農体験機会（トライアルワーク）の提供
- ・ 外部団体等が実施する就農関連イベントへの出展
- ・ オンライン相談会、座談会など就農に関わるイベントの企画、運営
- ・ 就農支援内容や、イベント情報などの情報発信

地域の帰還・移住等環境整備との関係

田村市・東京リクルートセンター運営事業や田村サポートセンター運営事業等の移住・定住促進事業と連携し、キッチンカー事業の担い手獲得とともに、令和5年度からはキッチンカーを活用した新規就農者獲得にも取り組むことで、市内の農業及び農産物を活用した6次化事業創出に取り組む。

関連する事業の概要

--

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	